

# 2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

## 事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 福島県 】

学校名【 郡山市立橘小学校 】

1 実践テーマ	II
2 実施対象者 (学年・人数)	学校全体での実施 1年62名、2年59名、3年63名、 4年56名、5年52名、6年59名、 計351名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 ( 学級活動 ) ② 行事名 ( ) ③ その他 ( ) (2) 地域における活動 ① イベント名 ( ) ② その他 ( )
4 目 標 (ねらい)	○ 児童に、未来につながる世界に向けた新しい地域のイメージを創り上げる。  ○ オリパラ教育体験等を通して、児童の良さを更に伸ばしていく。
5 取組内容	○ 令和元年9月4日(水) 筑波大学客員教授の江上いずみ先生を招いて、「オリパラで世界とつながるおもてなしの心」についての講演をしていただいた。「グローバルマナー」や「おもてなしの心」について、これまでの様々な経験の具体的な例を示しながらお話していただいた。  

	<p>○ 児童会運動委員会の活動の一つとして、お昼の放送で「オリパラクイズ」を出題した。</p> <p>○ アイムポッシブルの資料を活用した。</p>
6主な成果	<p>○ 言葉は通じなくても、表情や声の出し方、身振り、身だしなみなどによって、自分の気持ちをしっかりと伝えることができることや、日頃からどんなことを心がけていくとよいかなどについて学ぶことができた。</p> <p>○ オリパラに関連するクイズを出題したことにより、全校児童の興味や関心を高めることができた。運動委員会の児童にとっては、問題作りや、クイズ案の精選作業などに意欲的に取り組むことができた。</p>
7実践において工夫した点(事業の特色)	○ 特になし
8主な課題等	○ 特になし
9来年度以降の実施予定	○ 次年度の運動会では、低学年で「五輪音頭」に取り組む予定である。